

大腸がん到手術支援ロボット (da Vinci)手術を導入しました！

消化器外科 熊野 健二郎

ロボット手術は通常の腹腔鏡手術をロボット支援下に行うものです。ロボット手術の特徴は鮮明な3Dモニターによる拡大映像と多関節機能かつ手振れしない鉗子により柔軟で緻密な手術が行える点で、骨盤の深部を操作するような前立腺がんや直腸がんなどでより簡単に繊細な操作が行える事から、さらなる手術成績の向上が期待されています。

ロボット手術は現在世界中に普及しており、日本でも消化器外科、胸部外科、泌尿器科、婦人科領域などで広く行われています。大腸領域では2018年から直腸がん手術が、2022年から結腸がん手術が保険適応となり、全ての大腸がん患者に保険適応が拡大されました。

そこで当院でも2022年に最新の手術支援ロボットであるda Vinci Xiを導入し、多職種から成るda Vinciプロジェクトチームを立ち上げ、安全な運用に向けて研修を重ねてきました。さらにトレーニングを積み、認定ライセンスを受けた医師が2023年1月から全大腸がんに対してロボット手術を開始しており、良好な成績を収めています。

従来の腹腔鏡手術の低侵襲に加えて手術がより簡単に、精密になる点でメリットが増えますので、大腸がん症例がございましたら、ご紹介頂けますようお願いいたします。

